

製品名: IL-9R (リン酸化 Ser519) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04844**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	57kDa

抗原情報

遺伝子名	IL9R
別名	IL9R; Interleukin-9 receptor; IL-9 receptor; IL-9R; CD antigen CD129
遺伝子 ID	3581.0
SwissProt ID	Q01113
免疫原	抗血清は、Ser519 のリン酸化部位周辺のヒト IL-9R 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 472-521

背景

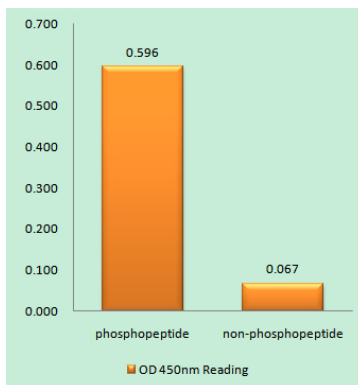
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、インターロイキン 9 (IL9) の生物学的効果の特異的に媒介するサイトカイン受容体

です。機能的な IL9 受容体複合体は、このタンパク質に加えて、多くの異なるサイトカインの受容体に共通する γ サブユニットであるインターロイキン 2 受容体 γ (IL2RG) を必要とします。この受容体へのリガンド結合は、様々な JAK キナーゼおよび STAT タンパク質の活性化を導き、それらが様々な生物学的反応を引き起こします。この遺伝子は、X 染色体および Y 染色体の擬似常染色体領域に位置しています。遺伝学的研究では、この遺伝子と喘息の発症との関連が示唆されています。9 番染色体、10 番染色体、16 番染色体、および 18 番染色体上に複数の擬似遺伝子が同定されています。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた転写産物バリエーションが見つかっています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],ドメイン: ボックス 1 モチーフは JAK との相互作用および / または活性化に必須です。 ,ドメイン: WSXWS モチーフは、適切なタンパク質フォールディング、ひいては効率的な細胞内輸送および細胞表面受容体への結合に必要と考えられます。 ,機能: これはインターロイキン-9 の受容体です。 ,その他: このタンパク質をコードする遺伝子は、X 染色体および Y 染色体の擬似常染色体領域 2 (PAR2) に位置しています。 ,類似性: I 型サイトカイン受容体ファミリーに属します。タイプ 4 サブファミリーです。 ,類似性: 1 つのフィブロネクチン III 型ドメインを含みます。 ,

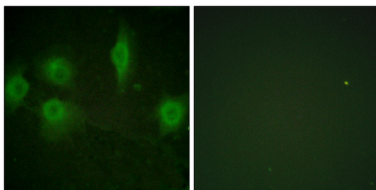
研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;Jak_STAT;造血細胞系統;

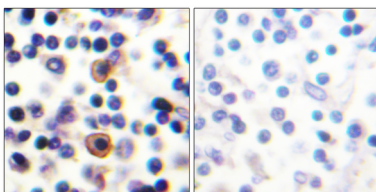
画像データ



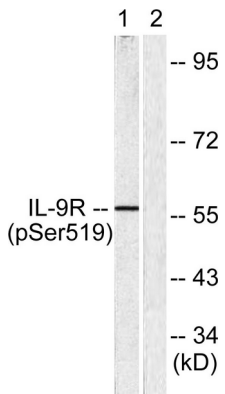
IL-9R (リン酸化 Ser519) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定法 (リン酸化 ELISA)



IL-9R (リン酸化 Ser519) 抗体を用いた HUVEC 細胞の免疫蛍光染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



IL-9R (リン酸化 Ser519) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒトリンパ節の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



IL-9R (リン酸化 Ser519) 抗体を用いた HUVEC 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。